

# 外の世界には危険がいっぱい！

近所にいつも、見なれた猫たちがいる風景。  
猫は外で自由に遊んでくる生き物。  
当たり前だった猫の生活が、現代では様々な危機に晒されています。  
猫の家族の皆さん、この機会に  
「室内飼い」を検討してみてください。



あなたの家族が危険にさらされています。

外の世界には、まず「交通事故」があります。

去勢・中絶手術がまだの場合は、不幸な野良猫を増やす原因にもなります（日本の保健所による、犬・猫の殺処分は年間約70万頭以上にも上ります）。

また、最近の変質者による「虐待・猟奇事件」が急増しています。

首輪をつけていようがいまいが、子猫であろうが成猫であろうが、変質者は無差別に、あなたの家族に牙をむく恐れがあります。

ここに、一例として、異常かつ悪質な、猫虐待事件をお知らせします。

## インターネット・猫虐待中継事件

2002年5月6日深夜、インターネットの人気サイト「2ちゃんねる」の「ペット大嫌い」コーナー<sup>1</sup>の掲示板において、ディルレバンガーと名乗る人物が  
猫を捕まえた」

猫祭り開催しますか。どんなのがいい？」

と、ネット上にいる人達に虐待のリクエストを求め、自宅のバスタブの中で、猫の叫び声が周囲に聞こえないように喉を切り、針金で縛りあげ、尻尾や耳を切り落とすなどをし、その経過である血まみれ猫の写真を次々とインターネット上で発信しました。

虐待は、熱湯をかけられて猫が息絶えるまで、3時間にも及びました。

被害にあった猫は、捨て猫だったのでは、とされています。人に慣れていたことが、犯人に容易に捕獲される要因となってしまいました。

ディルレバンガーを名乗る人物は、以前にも同サイトで、ハムスターを虐待した様子を記しており、動物虐待の常習犯であったことがうかがえます。

この猫虐待中継は、警察への通報が相次ぎ、犯人は検挙されましたが、現在は引越して、普通の生活をしているそうです。

また、この虐待事件に関与した人々（虐待のリクエストをし、嬉々として見守った人物たち）に関しては、捜査は及んでいないと思われます。

現在の日本の法律では、このような残虐な事件であっても、極めて微罪となってしまいます。

この犯人への刑も「おそろく略式起訴で終わりでしょう。罰金額も20万円が相場」<sup>4</sup>との事です。

この残虐な行為に、この刑はあまりに軽いと思います。

1 日本最大のアクセス数をもつ、インターネット匿名掲示板。  
2 事件後、「ペット苦手」コーナーに名称変更。

3 福岡県警により捜査は続行中との事。

4 新潮社・週刊新潮 平成14年6月13日号より引用。

あなたの隣人が、何食わぬ顔で生活しながら、  
動物虐待を「趣味」としているかもしれません。

自己防衛が必要です。  
愛する家族を、護ってあげてください！

インターネットに接続できる方は、以下のURLもご参照ください。

<http://www3.to/hypocrite>

「hypocrite's haunt」

<http://www.tolahouse.com/sos/>

「Dearこげんた」